

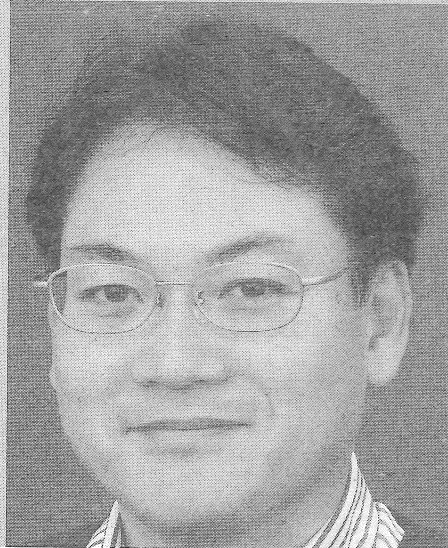
北大腫瘍病理学分野に
二十年度開講された寄付
講座「探索病理学講座」
(田中伸哉教授) 特任准
教授を経て、二十七年一
月一日から特任教授に昇



格する。「基礎研究の成
果を臨床にフィードバッ
クする講座の理念を具現
化したい」。
同大病院臨床研究開発
センターの生体試料管理

北大探索病理学講座の特任教授に就く

西原 広史氏



室長を兼務し、臨床研
究中核病院の一翼を担っ
ている。次世代シーケン
サーでがん遺伝子変異を
高感度検出し、最適な分

子標的薬や抗がん剤を選
択する「クリニカルシー
ケンスの普及を目指す」。
肺がん分子標的薬の、他
部位がんへの有効性に関
する臨床研究に取り組む
など、がん個別化診断を
追究する。

がん個別化診断を追究

診断が難しい脳腫瘍へ
の遺伝子診断も検討。欧
米で研究が進み、精度の
高さは病理医に勝ってい
るといふ。脳神経外科と
連携しながら、道内患者
の検体解析で診断や予後
評価を模索していく。

日本病理学会ゲノム病
理診断検討委員会のメン
バーとして「病理組織を
現場でどう扱えば、高品
質の組織を採取できる
か。そこから遺伝子解
析をどう進めていくか」。

外科医、病理医、臨床検
査技師が協力し合う必要
性もアピールする。
昭和四十六年一月十七
日、室蘭市生まれ。北大
平成七年卒。